

# 平成28年度 江別市スポーツ推進計画（第5期）推進状況報告書

計画期間 平成 26 年度～ 平成 30 年度

**基本方針：** いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツに親しみ、心身が健康で明るく豊かになるスポーツ活動を推進し、スポーツを通じたあたたかなまちづくりを目指すため、スポーツを生活の中に組み込むことによって、自らの体向上や健康の保持増進を図り、市民スポーツ活動の活性化を図る。

市民が生涯にわたってスポーツを気軽に行える場を提供し、心身ともに健やかで充実した生活を営めるよう、3つの基本目標に基づき計画を推進しています。

## 基本目標Ⅰ：生涯スポーツの推進

### 【基本目標Ⅰで目指すこと】

生涯各期（幼児・青少年・成人・高齢者の各期）におけるスポーツ活動及び障がい者のスポーツ活動を推進するため、発達段階やライフスタイルに応じた活動内容や指導体制の充実を図るとともに、多様な活動機会の提供や環境整備、スポーツを習慣づけるための情報提供を充実させます。

また、生涯スポーツ、学校における体育・スポーツ、競技スポーツといった領域に着目した多様なニーズに応えるため、関係機関・団体の連携や指導者のネットワーク構築等により、施設の有効活用、各種大会の振興を図り、運動能力や技術レベルの向上等を促進します。

### ◆成果指標 1 週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
23.6%	37.3%	37.8%	40.0%			→

### ■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・平成28年度は、生涯各期におけるスポーツ活動の機会提供と充実として、各種スポーツ教室を開催し、各年齢層別のメニューを提供しました。スポーツ教室はメニューの見直しなどを行い、より参加しやすい教室になるよう工夫しています。

各領域におけるスポーツ活動の充実と関係機関・団体との連携としては、学校開放事業や各種スポーツ大会開催の支援など、スポーツ活動機会の提供を行いました。

・スポーツ教室の受講者数は、前年を若干下回ったが、安定した受講者数を確保しています。

学校開放事業は、各団体の登録人数は減少しているものの、利用人数は増加しており、各団体の活動は活発な状態であります。週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は40.0%と上昇し、年代別に見ると高年齢層の方の割合が高くなっています。

・スポーツ活動に親しむ市民割合は上昇しておりますが、これを確実なものとするため、今後も、より多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、市民ニーズを的確に把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めていきます。

また、スポーツ合宿誘致活動を積極的に実施し、市内施設を利用して合宿を行う道外の団体に対し施設使用料補助等の支援を行うとともに、交流試合等の市民交流事業を通じ、市内のスポーツ振興に取り組めます。

## 基本目標Ⅱ：地域スポーツ活動の推進

### 【基本目標Ⅱで目指すこと】

市内の体育団体を統括する組織を支援し、各団体の活動の活性化を図ります。また、地域スポーツにおいても、安全に配慮した活動ができるように専門的な指導者の育成・資質向上を図るとともに、個人の運動能力に適した活動が選択できるよう情報提供と相談活動の充実を図ります。

住民が主体的に参画する総合型地域スポーツクラブに対して広報活動等の支援を行い、地域スポーツ環境の充実を図ります。

さらに、医療・福祉機関等と連携し、情報提供や相談体制の充実を図るなど、健康づくりの面からスポーツを推進します。

### ◆成果指標2 スポーツ機会が充足していると思う市民割合

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
76.5%	61.3%	57.6%	61.6%			→

### ■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・平成28年度は、地域スポーツ活動の活性化のため体育協会やスポーツ少年団の活動に対する支援のほか、スポーツ推進委員を派遣して軽スポーツの指導・普及を行う軽スポーツ出前事業を実施し、気軽にスポーツに親しめる機会を提供しました。

・各スポーツ団体やスポーツ少年団は少子高齢化の影響がある中、会員数は一定の人数を保っており、それぞれの団体は活発に活動し、全道大会や全国大会でも多くのチームや選手が活躍し好成績を収めています。

スポーツ機会が充足していると思う市民割合は61.6%と上昇し、年代別で見ると若年層と高年層の方が充足していると感じている割合が高くなっています。

・活動団体の活性化促進のため、体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等に対し、指導者育成等の支援を継続して行っていきます。また、スポーツ・健康づくりの活動機会に関する情報提供や相談体制の充実に努め、スポーツを通じた健康寿命の延伸を図っていきます。

## 基本目標Ⅲ：スポーツ環境の整備・充実

### 【基本目標Ⅲで目指すこと】

市民要望を踏まえ、安全で快適なスポーツ施設の維持整備を計画的に進めます。また、指定管理者制度を導入している施設については、施設管理団体と連携し、各種大会や教室の開催など、市民が利用しやすい適切な施設の管理運営を図ります。

さらに、学校施設や民間等の施設との連携により、施設の有効活用を図ります。

### ◆成果指標3 スポーツ施設整備の満足度

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
70.1%	59.1%	56.6%	60.0%			→

### ■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・平成28年度は、災害時の避難所としても重要な社会体育施設の計画的な改修（耐震化・長寿命化）として、大麻体育館の第一体育室耐震改修工事及びトレーニング室棟の耐震改修実施設計を行ったほか、施設の修繕及び備品の更新等の環境整備に努めました。

・市内の屋内体育施設は、建築から30年以上経過したものが多く老朽化対策が課題となっているため順次改修整備を進めており、その結果、スポーツ施設整備の満足度は上昇し60.0%となりました。

・平成29年度も引き続き大麻体育館の耐震化、長寿命化を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めるとともに、指定管理者と連携して利用しやすい施設運営と適切な管理を行います。